

家庭内の救急事故対策

実は住宅でも事故は起きています。
事故防止には、ご家族などの協力も大変重要です。



●転落する【階段、ベッド、脚立、椅子など】

- 1 階段などには、手すりを配置する。
- 2 ベッドには、転落防止の柵をつける。
- 脚立などを使用して作業するときは、補助者に支えてもらう。

●転倒する【段差、玄関、廊下など】

- 3 段差につまずかないようにする。
- つまずかないように、整理整頓をする。
- 階段、廊下、玄関、浴室などは、滑り止め対策をする。

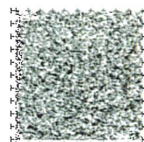


●窒息する【食べ物(餅や肉)、薬等の包装紙など】

- 4 細かく調理したものを、ゆっくりよく噛んで食べる。
- お茶などの水分を取りながら食事をする。
- お話は、口の中のものを飲み込んでから。
- 急に話しかけて、あわてさせないようにする。

●ぶつかる【家具、人、柱、ドアなど】

- 5 慌てず、周囲をよく見て行動する。
- 6 ドアやとびらは、開けっぱなしにしない。
- 通路などに物を置かない。
- 暗いところに十分な明るさを確保する。

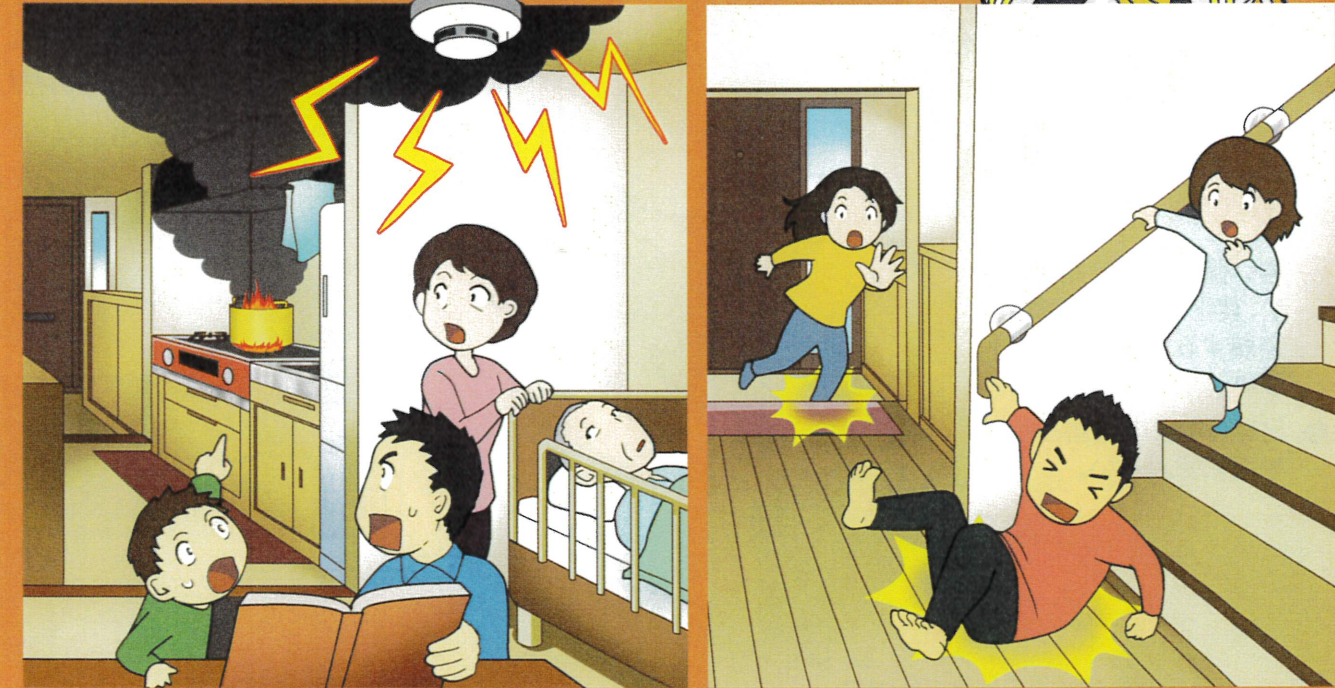


Uni-Voice

家庭内の 防火対策・ 救急事故対策



福岡市消防局
マスコットキャラクター
ファイ太くん



連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
消防本部	092-725-6600	東消防署	092-683-0119
博多消防署	092-475-0119	中央消防署	092-762-0119
南消防署	092-541-0219	城南消防署	092-863-8119
早良消防署	092-821-0245	西消防署	092-806-0642
福岡市民防災センター	092-847-5990	災害情報ダイヤル	092-791-1625

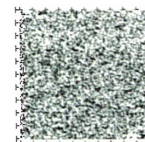
救急車? 病院? #7119

福岡県救急電話相談 医療機関案内



福岡市消防局

この音声コードは
スマホアプリ
Uni-Voiceで読み
取ると音声情報で
確認できます。



Uni-Voice

家庭内の火災対策

住宅における火災の原因は、大半が不注意や火の不始末によるものです。
日常生活の中のちょっとした心がけで、火災を防ぎましょう！

●ストーブ

- 1 ストーブの上で、洗濯物を乾かさない。
 - 2 灯油は、屋外の涼しい所に置き、古いものを使用しない。
 - 3 スプレー缶や可燃物を、近くに置かない。
 - 4 寝るときは、必ずストーブを消す。
- 給油するときは、火を消す。

●リチウムイオン電池

- 16 強い衝撃を受けたものや、変形したり、異常に発熱するものは、使用しない。
- 日差しなどの高温となる場所に置かない。

●こんろ

- 5 可燃物を近くに置かない。
 - 6 火の使用中は、その場を離れない。
 - 7 出火時に、すぐ消せる準備をしておく。
- 衣服に燃え移らないよう気をつける。
 - 調理油過熱防止装置など（SIセンサー）がついたこんろを使用する。

●電気機器

- 8 経年劣化した電気製品は、使用しない。
（変な音や臭いがしたり、モーターの回転が悪いなど）
- 取扱説明書に従って使う。
 - リコール製品を使用しない。

※リコールについての情報は、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)のホームページで確認できます。
(<https://www.nite.go.jp/jiko/index.html>)

●アロマオイル

- 9 可燃物を近くに置かない。
- 10 火をつけたまま放置しない。
- 11 オイルを拭いた布などは、乾燥機で乾かさない。

●灯明・ろうそく

- 12 その場を離れるときは、火を消す。
 - 13 可燃物を近くに置かない。
（カーテンは、防災製品を使用する。）
 - 14 台座は、倒れにくいものを使用する。
- 衣服に燃え移らないよう気をつける。

●収納

- 15 日が当たる場所に、ペットボトルや鏡などを置かない。

●たばこ

- 17 ごみ箱に、直接吸い殻を捨てない。
 - 18 灰皿の吸い殻を溜めすぎない。
 - 19 寝たばこは、絶対にしない。
- 灰皿は、割れない素材のものを。

●カセットこんろ

- 20 交換用のガスボンベは、火の近くに置かない。
- 21 衣服に燃え移らないよう気をつける。
- 22 並べて使用しない、鉄板でボンベ部分を覆わない。
（カセットこんろのボンベを熱しすぎないよう注意）

●配線

- 23 コードを、家具などの下敷きにしない。
 - 24 コードを束ねたり、たこ足配線をしない。
 - 25 コンセントのほころひは、乾いた布などで取り除く。
 - 26 配線を切ったり、つないだりしない。
- 使わないコードは抜いておく。

●放火

- 27 可燃物を放置しない。
 - 28 物置には、鍵をかける。
- できるだけ、屋外は明るくする。
 - ごみ出しの時間と場所を守る。

